



谷田 利一 議員

JR玉水駅前道路は

Q JR玉水駅の新駅舎と自由通路の併用が開始される。駅前・府道上狛城陽線の工事完了予定は2019年度末と聞いているが予定どおり進んでいるのか問う。

点だが、地元自治会の要望も取り入れ改修されるのか。

③ 啓発塔が設置されている三角緑地は。

駅前前の通行車両の速度超過が多発し、朝の登校時間帯には通行・送迎車が交差し危険を伴うことが多く見受けられる。速度超過車両の抑制対策は。

④ 駅前の通行車両の速度超過が多発し、朝の登校時間帯には通行・送迎車が交差し危険を伴うことが多く見受けられる。速度超過車両の抑制対策は。

駅前前の通行車両の速度超過が多発し、朝の登校時間帯には通行・送迎車が交差し危険を伴うことが多く見受けられる。速度超過車両の抑制対策は。

① 今回の駅前府道拡幅工事は現在買収済み用地のみか、残り北側の工事予定は。

迎車が多発し危険を伴うことが多く見受けられる。速度超過車両の抑制対策は。

② 北垣内踏切交差点は以前より課題のある交差点。

迎車が多発し危険を伴うことが多く見受けられる。速度超過車両の抑制対策は。

建設 西田課長

総務 脇本課長

今後

関係機関に要望

A ①現在買収済み箇所が今

回の事業範囲で19年度末の完成を目標に府に



早期改修が期待される駅前

事業を進めて頂いている。北側の事業化は、引き続き強く要望している。

②事業工事説明会など地元自治会等からの要望や意見を踏まえ府で事業を実施して頂いている。19年度工区全体を完成させる予定で地元

自治会等への情報提供等を行いながら完成に向けて取り組む。

③啓発塔及び三角緑地は、駅前ロータリーの拡幅及び歩道設置に支障となるため撤去。

④速度超過の抑制対策は、交対協による注意喚起の看板を設置、警察交通課による

パトロールの実施、駅前交番による朝夕の通学時間帯に交番前の立ち番により車両の速度抑制など見守りがされている。今後、歩行者や車両など交通安全向上のためめソフト・ハード両面での整備を府や関係機関に要望していく。

人間ドック検診補助年齢の見直しは

Q 国保の人間ドック等について問う。

るが、早期の一次・二次予防が大切な。

健康診査に関して個別の受診勧奨や検診費用の無料化、診査項目の追加、受診機関の拡大など受診しやすい環境整備により受診率が向上しているが、

本町の1人当たりの医療費は府や国の平均より高額になっている。本町においては生活習慣病が益々増加傾向にある。

③本町の平成28年死因数では脳血管疾患が2位になっている。脳ドック検診への補助の考えは。

保健医療 谷中課長

国保財政厳しく考えていない

A ①人間ドック受付人数は

る。国保の都道府県化による平成30年度の保険税の不足分も一般会計から繰入れをして対応している。現在のごころ対象年齢の見直しは考えていない。

平成25年度 41人
平成26年度 34人
平成27年度 40人
平成28年度 49人
平成29年度 48人

③脳ドック検診への補助も今後の国保会計の歳入歳出の動向を見極めながら判断する。

②本町国保財政は大変厳しく基金の保有もない。赤字が見込まれれば一般会計からの法定外繰入れにより補填していく。

2021年本町に府立支援学校開校が予定されている。本町から支援学校に通学される児童・生徒は授業終了後ほとんどが、児童デイサービスに通っている。本町の放課後児童クラブは、町立小学校に在籍する児童だけが対象である。国は、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域・暮らし・生きがいをとも



児童デイサービス「あん」

障がい児の福祉サービスは

西島 寛道 議員



につくり高め合うことができる地域共生社会の実現がうたわれている。

そこで問う。

①町内在住の支援学校通学生が、小学校児童や地域とのつながりのため放課後児童クラブを希望された場合、利用できるよう検討される

のか。

②児童デイサービスの事業所利用希望者に十分なサービス提供体制は整っているか。
本町内の児童デイサービスは何件か。

教育長
社会課長
高井 寺井

福祉課長
高井 寺井

放課後等サービス提供体制は整っている

A 府立支援学校は11校ある。いずれも放課後健全育成事業いわゆる放課後児童クラブは開設していない。

等を利用して頂く。

①放課後児童クラブは町立小学校の在籍者を対象にしており、府立支援学校在籍者は民間の児童デイサービス機関

②家族からの利用希望相談があれば相談業務を委託している事業所を紹介し、児童の特性に合った支援内容や訓練等を行う事業所を利用して頂いている。
児童デイサービス「あん」1事業所がある。

図書館施設にスポーツジムを

Q 文武両道の施設について問う。

平成29年文科省はスポーツ基本法の規定に基づき第2期スポーツ基本計画を策定し、1億総スポ

ーツ社会の実現に取り組むことを基本方針としている。

府でも平成26年に10年間を見通した京都府スポーツ推進計画が策定され

ている。

本町には、天候に関係なく運動・スポーツができる施設があり住民の健康づくりに大きく寄与しているが決められた時間

しか利用できない。今後図書館施設の移転・建て

替えの際に住民の健康と運動の推進を図るためのスポーツジムの併設を考えては。

教育長
社会課長
高井 寺井

現状施設を有効活用

A 文武両道の施設について国による第2期スポーツ基本計画は、平成29年3月にスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針として策定され、

多様な施設を有効に活用しながら、生涯スポーツの振興を図っていくことが大切と考えている。

これを受け、

府も現在、

京都府スポーツ推進計

画の中間年

における改

訂を進めら





木村 武 壽 議員

災害復旧工事の状況は

Q 本年は、梅雨前線豪雨や台風の影響で本町でも多くの被害が発生した。

そこで、災害復旧工事の進捗状況について問う。

建設
西田課長

町道35号線を先行実施

A 町道35号線道路路肩の石積みが延長約9メートル崩壊・町道35-05号線は上部法面及び道路路肩が約17・4メートルにわたり崩壊する2カ所の道路災害が発生した。

2カ所の同時施工が困難と判断し町道35号線を先行実施するため準備している。町道35-05号線についても引き続き工事着工が図れるよう準備している。両工事とも早期に完成するよう努める。

ブロック塀の緊急安全対策は

Q 町が管理するブロック塀について専門家が調

査した結果、違法性はないが既存不適格であることからいち早く保育園や小・中学校外壁改修工事を進めて頂いた。そこで問う。

①ブロック塀等の撤去後どのように改修されたのか

②府の新たな民間施設ブロック塀等の緊急安全対策事業について

建設
西田課長

学校教育
高江課長

住民福祉
中坊課長

臨時補助制度 創設

A 町立3保育園の内、改修対象のいづみ保育園の設計が出来しだい入札・工事着手する。

①町立3保育園の内、改修対象のいづみ保育園の設計が出来しだい入札・工事着手する。

多賀小・泉ヶ丘中のブロック塀等の撤去した個所に新たにメッシュフェンスを設置する。

②対策事業は19年度末までの臨時措置とする補助制度が創設された。対象経費としては、工事費の4分の3を上限15万円として国・府・町で補助するもの。ホームページや「広報いで」に掲載するなど周知を行い、地震に備えた建築物の安全対策を進めたい。



改修中のフェンス工事（泉ヶ丘中）

ヘイトスピーチ防止の取り組みは

Q ヘイトスピーチ防止のためのガイドラインの取り組みについて2016年人権に関する三つの法律が施行された。法律ができて魂をいれなければ何ならない。

不当な差別的言動の解消に向け、人権意識の高

揚を図る取り組みは大変重要である。

そこで「井手町公の施設等におけるヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドライン」とはどのような内容か。これまでの取り組みと今後の対策について問う。

谷
中副町長

ガイドラインを策定

A 「井手町公の施設等におけるヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドライン」を策定し9月1日から施行している。本町の所管する施設等においてヘイトスピーチが行われることを防止するため、公の施設等の設置管理条例に基づく使用制限規定の適用について、解釈・運用する際によりべき基準であり、ヘイトスピーチ解消法をより具体的にマニュアル化した本ガイドラインは有益かつ必要と考え早期に取り組んだもの。

これまでの取り組みと対策は本年3月に府がヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドラインを策定されたことから本町も9月1日に施行しホームページに掲載した。府人権啓発推進室の協力を得て11月に職員向け研修会を開催した。

あらゆる人権侵害を許さない立場から今後も職員研修及び住民啓発に一層努める。



脇本 尚 憲 議員

避難所の安心・安全な取り組みは

Q 本年は台風21号をはじめ大型の台風が近畿地方に接近し猛威を振るった。本町においても屋根瓦の損壊や倒木、長時間におよぶ停電など様々な被害が発生した。

不安を避難所があることで安心できた」と感謝されている。

しかし、一方で避難所の設備に不安を感じている声もある。

そこで問う。

①安心・安全な避難所として取り組むこと、準備することは。

②大規模災害に備えて、要配慮者の避難所としての受け入れや対応についての考えは。

避難所を開設されている。避難所を利用された独居高齢者の方は、「台風の中一人で夜間を過ごす

総務課長
脇本 尚 憲

福祉避難所の開設も考えている

①避難所での意見や改善点を聞き、それをもとに改善をしてくれている

具体的には、避難された方への飲食の配置や、床に敷くブルーシートの用意、入り口付近に避難所とわかる看板の掲示、介助が必要な方への別部屋を用意するなど、直ちに対応できるものには既に取り組んでいる。

オを用意しているが、テレビで詳しく知りたいたいの意見もあるので、今後検討していきたい。

②要配慮者で介助の必要な方には、別部屋を用意しているが、必要に応じて本町指定の福祉避難所を開設すること

準による通所介護が7名、現行相当の訪問介護が7名。

日常生活支援総合事業は

Q 平成29年4月より介護保険では、日常生活支援総合事業がスタートした。

給付についても、地域支援事業に移行し自治体で取り組むようになっていく。

③少子高齢化による社会構造の変化により、現行のサービスを維持しても、長期的には財政問題や担い手不足に対応できない見通し、地域の支え合い活動を創出して、対応することが必要と

総合事業では、要支援1・2の人だけでなく、非該当と判定された方や要介護認定を受けられていない方でも、65歳以上で生活機能に低下がある人は利用できる。

この制度改正では予防

①本町で総合事業を利用人数は。

②本町では日常生活支援の一環として独自でどのような事業をしているのか。

③総合事業を行う上での課題や今後の展望は。

福祉課長
高井 尚 憲

高齢者が元気に

①平成30年9月分の請求で、現行相当の通所介護が29名、緩和した基

知識等に対応した訪問介護の担い手養成の研修を実施していきたい地域の公民館単位で居場所づくりのニーズがあった場合は、地域の役割、町の役割、事業所の役割を明確にして、住民主体の取り組みを支援することで、介護認定にいたらない元気な高齢者をふやし、重度化を予防することが必要と考えている。



元気な高齢者を増やしたい



中坊 陽 議員

平成31年度予算の基本政策は

◎ 平成31年度予算は汐見町長6期目の最終年度となる。

支援学校開校に伴う町道整備工事も順調に進んでいる。

現在、6つの柱からなる33項目の基本政策実現に向け取り組まれてきている。

教育・福祉関係においても、子育て支援施策や高齢者福祉事業に確実に取り組まれている。

◎ 今期、事業関係では宇治木津線の計画道路概要が明らかになり、大きく前進した。JR玉水駅の橋上駅舎や東西自由通路も供用開始になり、府立

平成31年度予算の基本政策の考え方は各課からの来年度予算要望にどのよう

に取り組まれるのか。

汐見町長

継続性を重視 教育福祉の充実

◎ 予算の編成については、行政の継続性を確保しつつ、住民生活に支障

が生じないよう、また、教育や福祉についても、来年度も後退させること

のないように努めて行く。

本町の課題である人口減少をいかに食い止める

かは、JR奈良線の高速化・複線化事業や玉水駅周辺整備、企業誘致、住宅地や開発適地の拡大、宇治木津線道路の整備などが最も重要と考えている。

多賀駅前的大型商業施設については、立地計画が具体化されれば、必要な手続きを進める。

◎ 宇治木津線道路については、国による来年度の新規事業化を目指し、府において都市計画決定に向け手続きが進められている。

本町としては、市街地

へのアクセス道路、沿道の土地利用について検討を進める。

新庁舎については、基本設計や候補地の選定等、建設を加速させたい。

また、平成33年4月の支援学校開校に向けて関連する町道整備も計画通り進める。

現在、各課に予算要求を出すように指示している。

31年1月初旬に予算要求を取りまとめ、企画財政課が事業査定を行う。1月下旬に副町長と参与が査定した後、町長が査定をし、2月上旬をめぐりに編成をする。

コミュニティ・スクールの導入は

◎ 府教育委員会では、地域住民が学校の運営に協力するコミュニティ・

スクールの発足支援に努めている。

導入している学校では、住民が学校運営を支えて

教員の負担軽減になっ

ている例も報告されている。地域住民も子どもの成長を感じること生きがいにつながり、子どもは地域に育てられている安心感がある。

本町のコミュニティ・スクールについての考えと取り組みについて問う。

松田 教育長

国・府内の動向を注視

◎ 本町の小学校では、米づくり、サツマイモの栽培、タケノコ掘りなどの体験活動や南山城水害ゲンジボタルなどの歴史や自然に関する学習、子どもの登下校の見守り、体力テスト、放課後学習での丸つけ、本の読み聞かせなど、多くの保護者や地域の方々に支援をいただいている。

ワタキューセイモア株式会社との協力をいただき面接練習も実施している。コミュニティ・スクールの導入については、文科省の公表で、府内市町村の小中学校で、14・4%の導入状況である。本町においては、地域と協働した取り組みが進んでいる。



チャレンジ学習（井手小）

制度としての導入は、全国・府内の動向を注視し考へて行きたい。



谷田 みさお 議員

大型商業施設進出対策は

Q 大型商業施設は広大な面積を占める。現在事業者が予定をしている敷地面積・店舗面積は何㎡か。駐車場の予定台数は。本町への出店ではあまりにも過大な面積を求めているのではないか。対象地は農地であり、転用・開発について必要最小限とすべきである。すべて

開発されれば町内農業・農地への影響はないか。JA支店の農産物直売所への影響に対策が必要ではないか。進入路の安全性、渋滞対策など、どのように取り組んでいくのか。事業者は地域貢献策についてどのような提案を行っているのか問う。

環境課長
産業本課長
菱産

住民は進出に期待

A 住民へのアンケート調査で、約8割の方が買い物等日常生活に不便であると回答されており、関係土地所有者の方々に

も同意を得ていることから、前向きに捉えている。今後事業者として正式な決定がなされれば、詳細な計画が示されると考える。

進入路の課題や地域貢献策は適切に指導、助言していく。JA井手町支店

は運営方法など事業者と協議調整していくと伺っている。

障がい者雇用率は

Q 9月議会で、役場職員の障がい者雇用率について「本町では厚労省のガイドライン通りに障害者手帳を確認するなどの手順で認定が行われているか」の質問に「職員99名のうち障がい者は3名で、3.0%と法定雇用率を上回っており、障害者手帳による確認も行っている」との回答だった。その後、多くの自治体で職員数に非常勤職員を含めず、厚労省のガイドラ

イン通りに算定していなかったことが報道されている。厚労省のガイドラインは手帳の確認だけでなく、1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる非常勤職員を分母に含めるという算出方法も定めている。結果的に本町では厚労省のガイドラインが守られていなかったことになるのではないかと。9月議会の答弁の訂正を求める。

総務課長
協本課長

数値の答弁に誤りはない

A 京都労働局に提出している障がい者雇用に関する数値は、9月定例会で答弁の通り、その時点での答弁に誤りはなかったものと考ええる。

30年11月13日付総務省の通知で、手引きやマニュアルが策定されることから、それに従いながら取り組みを進めて行きたい。

蛇谷川その後の対応は

Q 蛇谷川上流で土砂崩れが繰り返されている問題について、出水期も終わり、1日も早く恒久的な土砂崩れ対策を完了すべきである。補修作業は完了したのか。恒久対策に着手しているのか。経過と今後の見通しを問う。

建設課長
西田

府と連携し指導する

A 補修作業は、土砂を撤去し大型土のうの設置により川幅が確保し完了、恒久対策はプロックを設置し土砂の撤去工事が行われており今後とも、早期に完了するよう府と連携ししっかりと指導していきたい。



「自衛隊への名簿提供については紙面の都合上割愛しています」

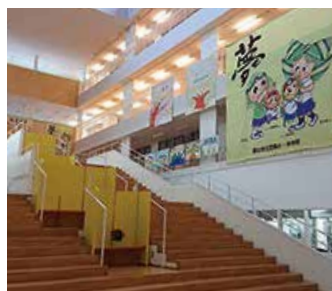
● 井手町議会管外視察研修報告 ●

平成30年 11月 8日(木) 9日(金)に富山市を訪問し行政研修を行いました

富山型デイサービスについて

共生型のデイサービスとして注目されているデイサービスの視察を行いました。

議 員	感 想
脇 本 尚 憲	従来の縦割り福祉制度だけに頼らない柔軟性を持った取り組みで大変勉強になった
谷 田 利 一	子ども、高齢者、障がい者、療育のすべてを受け入れ、明るく活気のある施設に感動した 本町にもこのような施設が早く開設できるように願いたい
西 島 寛 道	本町にできる支援学校の児童・生徒の受け入れ先や特養の待機問題の一翼を担えるのではないが
岡 田 久 雄	共に過ごすことで子どもたちは明るく笑顔があふれておりお年寄り子どもたちに見られている ことで転倒することなくシャンとされているそうです
丸 山 久 志	今後は富山型が全国的に主流になる気がする
中 坊 陽	高齢者だけでなく子どもたちも利用できる共生型施設は今後全国の多くの施設で富山型が採用され ると考える
谷田みさお	多動性のある障がい児が静かに休んでおられる高齢者と同じ部屋で「騒いでいる」感じだったの でもう少し面積に余裕を持ってほしいと感じた
木 村 武 壽	代表者の個性的な指導の元で子どもから大人、障がい者までにぎやかな姿を見て驚いた 給料はどうしているか心配している



小中一貫的連携教育について

富山市にある芝園小中学校を視察してきました。

議 員	感 想
脇 本 尚 憲	学校内に様々な場所で勉強ができるスペースや資料が設置してあり学習したいと思わせる 環境が整っている印象を受けた
谷 田 利 一	少子化が進めば本町も近いうちに一貫校の設置が必要となってくると思われる
西 島 寛 道	教室の区切りや1階から3階まで吹き抜けの空間があり開放的な空間で子どもたちが過ごしてい るのが印象的だった
岡 田 久 雄	小学生が中学生の生活を常に見ることができ中学1年になる時の壁が無くなりスムーズに溶け込 むことができるのではないかと
丸 山 久 志	小学生がのびのび生活ができるのかが課題と思われる
中 坊 陽	小学校にはいきずまった時一呼吸するクール室も整備されていた
谷田みさお	施設一体型の小中一貫校では狭い敷地で不自由が生じている学校もあるが視察先の小中学校はゆ ったりとのびのび学べる環境があると感じた
木 村 武 壽	小・中互いに自由に行き来ができ勉強以外の教育も出来てうらやましく思った 大きな図書館が印象に残った



— 井手町のむかし話 —

井手町自然休養村管理センターから多賀地区に通ずる、かつての「旧大和街道」に沿った才田川沿いに落差6メートルの良弁の滝があります。

この滝には、昔から語り伝えられている昔話があります。

「東大寺要録」に記されている初代別当となった良弁僧正の話語り部調でまとめたものを紹介します。



良弁さん

驚にさらわれた子
立派なお坊さんに

「山城の多賀に高神社というところがあってな。むかし、その神社のそばの畑で仕事をしていた時のことや。お百姓さんたちが、いろいろな話をしながら休んでいたら、なんか空が暗ろうなってきたのや。」

「こら、かなんなあ」と、みんな逃げたのや。するとうしろで、急に子どもの泣き声がしてきてな。びっくりして探したら、なんと敷のなかに小さな子どもがいるやないか。

あんな高いところから落ちたのに、怪我一つしとらんてな。「天から授かったお子や」言うて、村中で大事に育てることにしたんや。

良弁と名づけられたこの子は、また賢い子でな。

習いもせんのに、難しい経文を、すらすら読むのや。

良弁は、才田川の滝にうたれ修行の日々を過ごすうちに、多賀の里の人々にあがめられる立派なお坊さんにならした。

やがて、良弁さんの噂は聖武天皇のお耳にとどいてな。

奈良に行かれて東大寺建立にたいへん尽くされたのや。

それで、東大寺の初代別当さんにならした。

それから暫くたったある日のこと、一人の老婆が良弁さんを訪ねてきてな。

「わしの子は、二つのとき大驚にさらわれたまま、行方知れずになりましたんや。聞くとおところによりますと東大寺の別当さまは、小さい頃、大驚にさらわれてきたお人やと言うやないですか。もしやと思うて飛んで来ましたのや」

「確かに、私は小さい頃、大驚にさらわれました」

「やっぱり！わしの子の背中には粟粒大のホクロがありましたのやが…」

驚いた良弁さんが、背中を見せると、老婆は泣き崩れたのや。背中には、見覚えのあるホクロがあつてな。こうして、40数年ぶりに母と子は、めぐり合うことができたんや。}

文：宇治民話の会

是非とも地域のむかし話を子どもさんに読み聞かせてあげてください。

良弁 (689～773)

奈良時代の東大寺の僧。持統天皇3年(689年)に生まれる。

良弁の出自については、近江の国志賀の里、または相模国ともいわれ、石山寺の創建に力を入れた。

初め法相宗を学んだが、新羅の僧審祥を講師に華嚴宗を広めた。聖武天皇の東大寺建立に協力し、初代別当となった。天平勝宝8年(756年)には大僧都となった。弟子の一人に道鏡の名がみえる。

参考：旺文社 日本史辞典



*訂正

30.11発行 第63号「議会だより」P.10 玉ノ井の説明文の中で、
6行目 明治6年2月 → 明治6年4月
7行目 井手小学校を開校 → 井手小学校を移転 に訂正します。
井手町ふるさとガイドボランティアの会 岩田 剛

編集後記

三寒四温を感じる季節の中
住民の皆様におかれましては
ますますご清栄の事と申し上げ
ます。

さて、国の方では、5月に
元号が変わり、200年ぶり
天皇生前退位と歴史的な1年
となります。

本町でも、庁舎移転の大型
事業等が目白押しで、井手町
元年にふさわしい「猪突猛進」
の年であります。

そのようなか、我々議員一
同、管外研修も含め、本町の
発展と豊かな社会の実現を目
指し日々努力して参ります。
住民の皆様にはそれぞれご
多忙とは存じますが、議会の
傍聴にぜひお越しください。

(T・K)

議会広報編集委員

委員	委員	委員	副委員長	委員長
木村	岡田	谷田	脇本	中坊
武久	久利	利一	尚憲	陽
壽	雄			